

NHK

月刊みなさまの声 2021年10月



<目次>

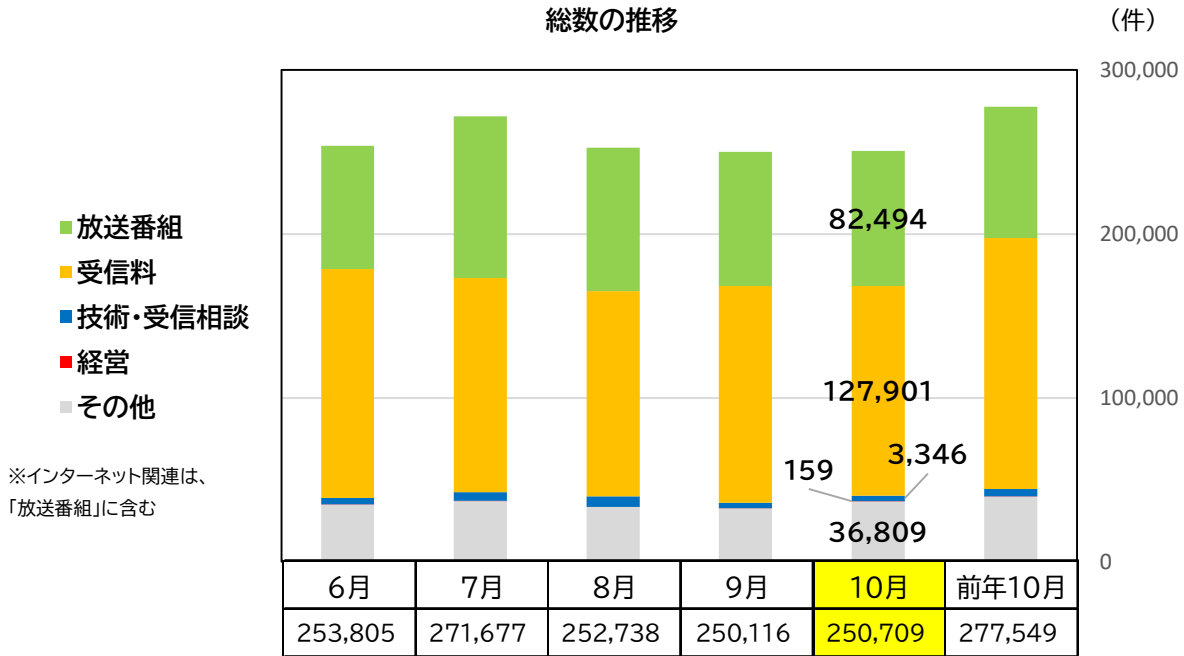
1. 視聴者の声の総数と内訳	2
2. 放送番組への意見と対応	3
3. 受信料への意見	5
4. 技術・受信相談への意見	5
5. 経営への意見	5
6. インターネット活用業務への声	5
7. 反響の多かった番組から	6
[参考データ]	13

広報局視聴者部

1. 視聴者の声の総数と内訳

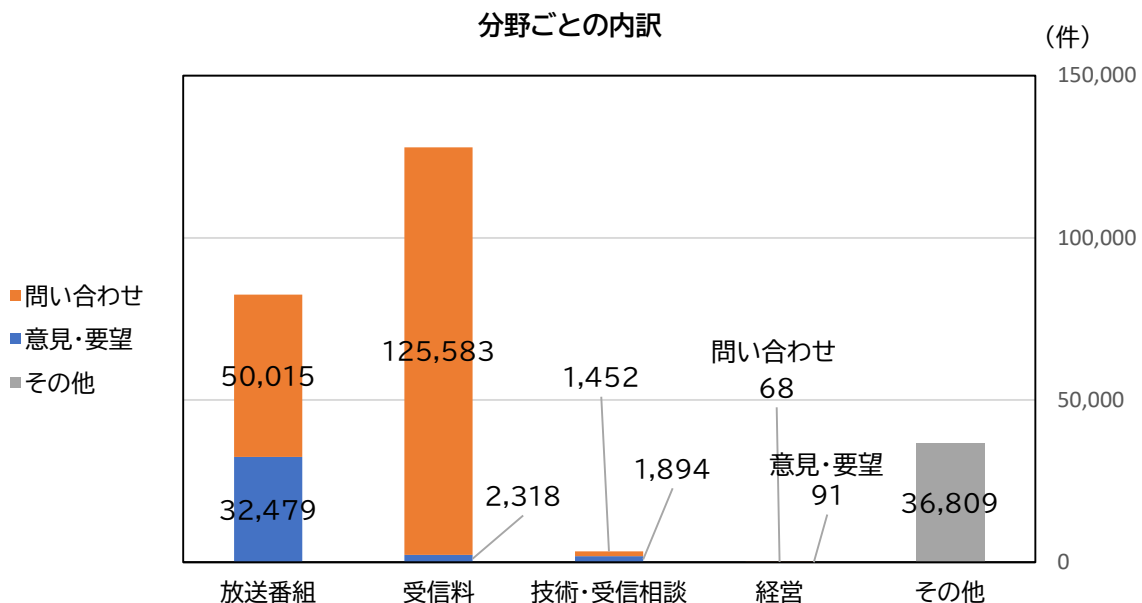
■総数の推移と内訳

10月にNHKに寄せられた視聴者の声の総数は250,709件で、前月よりも593件増加し、前年同月より26,840件少なくなっています。分野別の内訳は、「受信料」に関するものが最も多く、次いで「放送番組」「その他」などとなっています。



■分野ごとの内訳

放送番組に関する声のうち、放送日や出演者などに関するお問い合わせが50,015件で60.6%。番組内容や演出などに関する意見・要望が32,479件で39.4%でした。また受信料に関する声のうち、料金や手続きに関するお問い合わせが125,583件で98.2%を占め、意見・要望は1.8%にあたる2,318件でした。



いただいたお問い合わせや意見・要望に対しては、あらかじめ準備した資料などをもとに、ふれあいセンターをはじめとする受付窓口でお答えしたほか、内容によっては番組制作の担当部局などと連携して対応を完了しています。

2. 放送・番組への意見と対応

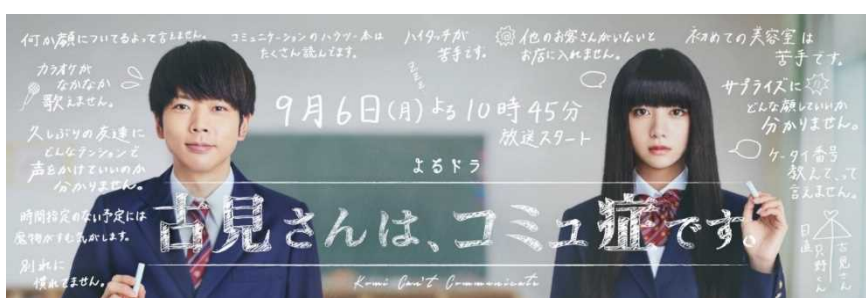
放送や番組に寄せられた視聴者の声は82,494件、このうち番組に対する意見は32,479件で、分類すると好評意見が36%、厳しい意見は64%でした。

また声をもとに確認し、対応した事例は、テロップのミスや誤読などで59件(9月は49件)、ホームページの関係は32件(9月は30件)でした。テロップの文字の誤りのほか、地名や名前の漢字の間違い、ホームページで紹介している番組の初回放送日の掲載の誤りなどを修正しました。

ドラマをより楽しんでいただくため、番組に寄せられた声に応じて、放送回の途中から字幕を入れる取り組みを行いました。

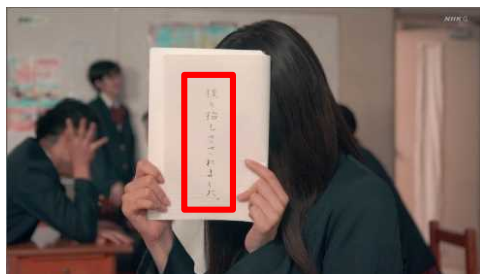
■“主人公の気持ちが知りたい！”ドラマの字幕で工夫

好評のうちに11月1日に放送を終了した、よるドラ「古見さんは、コミュ症です。」。全8回のうち4回目の放送から、主人公が気持ちを書いたノートを示すシーンで、画面に字幕が表示されたことにお気づきでしたか？視聴者のみなさまから、「主人公がノートに書く文字が読めない」という声が寄せられ、現場で工夫しました。



【視聴者から寄せられた声】

- ・ 主人公の古見さんがノートに書く字が光ってしまって、読み取れない。若い人はいいのかもしれないが、一生懸命読んでも間に合わない。(70歳以上女性)
- ・ 80代の母と楽しみながら見ているが、母は目が悪く字幕で何とかついていく感じた。しかし、古見さんのノートの字は表記されないため、母は古見さんのセリフが読めず残念に感じている。古見さんのセリフも分かるとさらに楽しく見られると思うので、検討してほしい。(50代女性)



【第2回(9月13日)】より
「後ろ指もさされました」と書いてあります



このため、ドラマの制作現場ではノートをアップにした映像を追加する方法なども検討しましたが、監督とも話し合った結果、字幕を表示する取り組みをすることにしました。さらに字幕には、池田さんが書いた直筆の文字をいかす工夫もしました。



【第4回(9月27日)】より
「私、嫌われば」



「私、嫌わられていますか？」

第4回から、主人公が気持ちをノートに書くシーンでは、画面に字幕を出すようにしたところ、視聴者からは、見やすさを評価する声をいただきました。

【視聴者から寄せられた声】

- ・ 「古見さんのノートの文字がぼやけて見えない」と電話した者だが、9月27日の放送からノートの文字が画面に表示されるようになった。対応してもらって、すごいと思った。 (70歳以上男性)
- ・ 筆談の場面で字幕を入れてくれて、ありがとう。目が悪いので、これまでノートに書いてある筆談の字を読めなかったが、今回から字幕がついて読めるようになった。 (50代女性)

制作現場では、放送前にどのように映像が見えるか大きなモニター画面で必ずチェックしていました。しかし今回は高齢の方からだけでなく、小さなスマートフォンの画面でドラマを楽しむ世代を中心に、SNS上でも「見えにくい」という声が上がっていました。字幕を取り入れたことで、様々な世代から歓迎する投稿が見られました。

NHKでは、これからも視聴者のみなさまが、いつでも、どこでもコンテンツを楽しんでいただけるようさまざまな取り組みを進めていきます。

■10月 反響の多かった番組

「シブヤノオト」、「伝説のコンサート」、「わが心の大阪メロディー」といった音楽番組について、出演者への好評意見や再放送の要望などが多く寄せられました。

シブヤノオト Presents Snow ManリクエストLIVE「Snow Man特集! 皆さんが決めたセトリで生放送ライブ」(10/2)(総合) <small>出演者への好評意見など</small>	1,798件
伝説のコンサート 西城秀樹・デビュー50年スペシャル <第1部><第2部>(10/2)(BSプレミアム、BS4K) <small>地上波での再放送希望など</small>	897
【連続テレビ小説】おかえりモネ 第120回「あなたが思う未来へ」(10/29)(総合、BSプレミアム、BS4K)	515
日曜討論「あさって公示 衆院選の争点を問う」(10/17)(総合、ラジオ第1)	428
【連続テレビ小説】純ちゃんの応援歌(再)第27回・第28回(本放送:1988/11/2、11/3)(10/29)(総合) <small>放送予定問い合わせなど</small>	422
ガッテン!「モチモチ食感祭り もち米で美味&快感SP」(10/20)(総合) <small>赤飯のレシピ問い合わせなど</small>	339
日本女子オープンゴルフ選手権2021※台風16号の影響により順延(10/1)(総合、BS1) <small>放送予定問い合わせなど</small>	278
衆院選開票速報 2021(10/31)(総合、ラジオ第1、FM)	269
わが心の大阪メロディー【生放送! なにわの紅白▽上白石萌音・上沼・なにわ男子ほか】(10/26)(総合)	260

<10月放送以外の番組への反響> 第72回NHK紅白歌合戦(12/31)(総合、BS4K、BS8K、ラジオ第1) 2,440件
観覧募集への問い合わせ、出演者要望など

3. 受信料への意見

受信料に関して、10月は127,901件の意見や問い合わせが寄せられました。このうち98%が問い合わせで、受信料の金額についての問い合わせや、引っ越しに伴う手続きなどについてでした。いただいたお問い合わせに対しては、ふれあいセンターをはじめとする受付窓口でお答えしました。

NHK公式サイト「受信料の窓口」では、お問い合わせの多い受信料制度の意義について紹介するコーナーを新たに設けるなどの取り組みを進めています。

4. 技術・受信相談への意見

技術・受信相談に関して、10月は3,346件の意見や問い合わせが寄せられました。このうち、ふれあいセンター(受信相談)および各放送局の受信窓口では2,869件を受け付けました。内訳は、映像が受信できないなどの申し出が2,047件、受信方法やテレビのリモコンの操作方法などの技術相談が822件でした。10月は、台風16号が関東地方に接近したことに伴って強い風や雨の影響で受信不良が発生し、相談や問い合わせが多く寄せられました。

5. 経営への意見

NHKの経営に関して、10月は159件の意見や問い合わせが寄せられました。このうち、ふれあいセンター(放送)で受け付けた意見や問い合わせは50件でした。内訳は、「公共放送について」が10件、「経営計画」関連が6件、「職員制度」関連が5件などでした。「公共放送について」では、「スクランブル化」に関する意見などが、「経営計画」については、「ラジオ、BSの放送波の整理」などに関する意見や問い合わせが、「職員制度」については、「職員の給与」や「障害者の雇用状況」などに関する意見や問い合わせなどが寄せられました。

6. インターネット活用業務への声

ふれあいセンターや全国の放送局に寄せられた視聴者の声のうち、インターネット活用業務についてのものは12,298件、そのうち82%が「NHKプラス」についてでした。このうち31日に行われた衆議院選挙の開票速報について、「同時配信・見逃し配信はあるのか?」「権利の関係で途切れることはないのか?」といった問い合わせが寄せられ、インターネットの番組配信でも選挙報道への関心の高さが伺えました。このほか、多くの要望を受けて、らじる★らじる(WEB版)に再生速度の調節機能を設けたところ、「大量に情報収集できるようになりありがたい」などの好評意見が寄せられました。

7. 反響の多かった番組から

■衆院選開票速報 2021

10月31日(日)

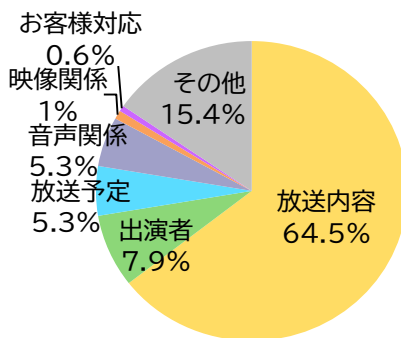
総合、ラジオ第1、FM 後7:55～前5:00



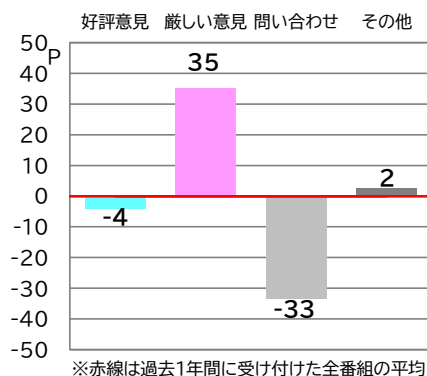
反響318件 ※10月31日～11月1日で集計
(好評意見6件、厳しい意見171件、
問い合わせ70件、その他の意見71件)

2017年以来4年ぶりとなった今回の衆議院選挙は、与党が過半数の議席を確保して連立政権を維持するのか、およそ210の小選挙区で候補者を一本化した野党が勢力を伸ばすのかが焦点となり、新型コロナウイルスの今後の感染対策や経済の立て直しなどをめぐって論戦が交わされました。開票速報に関して視聴者から寄せられた声は、放送開始時点から翌日までに318件で、前回の衆院選(2017年10月)と同じ期間と比べておよそ560件少なくなりました。(※前回の衆院選は超大型で非常に強い台風の接近と重なり、選挙と台風報道のバランスなどについての意見などが多数寄せられていました。)

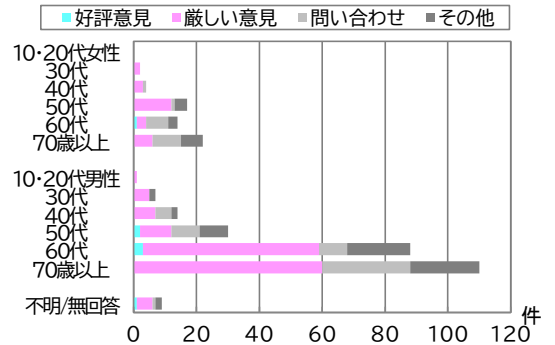
●受付内容の内訳



●意向種別の相对比较



●意向種別×年代性別



【主な内容】

○当確・議席予測について

- 20時を過ぎたらすぐに当確を発表し、候補者の会見を中継しているのはおかしい。なぜ、選挙の開票開始まで待てないのか？ (50代女性)
- 20時の時点で自民党の議席を212～253と予想していたが結果はそれを大きく上回る261議席だった。NHKがこれだけ予想を外すことは珍しい。しっかりと検証してその反省を今後に活かしてほしい。(70歳以上女性) ※同様意見多数

⇒議席予測については、視聴者の声を受けて、NHKオンラインの「NHK政治マガジン 衆議院選挙 NHKの議席予測はなぜ外れたのか」で詳しく説明しています。

○キャスター・解説について

- 民放各局も見したが、NHKの選挙報道がいちばんよかった。スッキリしていて、各キャスターも聞きやすく、整然と放送していて分かりやすかった。(60代女性)
- 「大物候補」が小選挙区で敗れた際に、その敗因の解説に比重が置かれている印象。相手候補の勝因もあるはずなので、きちんと分析してほしい。(70歳以上男性)

○演出・表示などについて

- ・ 一部の注目の選挙区は頻繁に放送されているが、自分の選挙区についても、今どうなっているのか知りたい。(50代女性)
- ・ 小選挙区の開票状況を伝える際に、地図は出てくるが、具体的な地名も入れてもらわないと、どこなのかわかりにくい。(60代男性)
- ・ 安定した運びで良かったが、スタジオのセットが気になった。アナウンサーの背景が赤と青のストライプで、東京タワーの映像もあり非常に見にくかった。背景は嫌でも目に入るし、あの色は目がチカチカする。もっとシンプルに、ニュース7のようにしてもらいたかった。(60代男性)

○編成・放送時間について

- ・ 東京からの全国放送がほとんどになっている。大阪から、近畿地方の開票速報をもっと頻繁にやってもらいたい。(60代男性)
- ・ FMで、ラジオ第1と同じ開票速報を放送するのはいかがなものか。FMは独自の放送してほしい。(60代男性)
- ・ 「ラジオ深夜便」がなく開票速報を放送していたが、できたら2時、3時の時に時間を言ってもらいたいし、3時台の最後にある「全国の天気と気温」くらいは放送してほしい。(60代男性)

なお、今回の選挙では、開票速報への声とは別に、候補者アンケートや最高裁判所裁判官の国民審査に関する情報などを掲載した特設サイトの充実ぶりに好評意見が多く寄せられました。

○衆院選特設サイトについて

- ・ 総選挙立候補者へのアンケートは、自分の選挙区以外の候補者のものも読むことができ、同じ政党であっても各候補者ごとに少しずつ違いがあることがよく分かった。とても有意義な企画だと思う。できれば小選挙区のみでなく、比例代表区単独の立候補者のアンケートも読んでみたいので、是非、追加していただきたい。(60代男性)
- ・ 最高裁判所裁判官国民審査2021特設サイトがとても見やすくよかった。毎回、国民審査の参考になるものが少なく困っていた中で、今回のサイトは投票する際に、とても勉強になった。次回の国民審査でもこのようなサイトをぜひ作ってもらいたい。サイトに関して追加でお願いしたい事がある。当時の最高裁の判決のニュース記事(また解説した記事)を、リンクを貼るなどして見られるようにしてほしい。(30代)
- ・ 最高裁判所裁判官国民審査のページは、画面の背景が大理石の模様となっていて、それが文字(文章)の後ろに透けて見えるのでページをスクロールすると文字が読みづらい。とても内容のよいページの数々だったので、今後は背景に余計なものを入れずに作っていただけると見やすく助かる。検討をお願いしたい。(年代不明女性)
- ・ 衆議院選挙2021のサイトにある「候補者へのアンケート結果」及び「最高裁判官」についての解説並びに判決内容が大変助かった。選挙が終わったあとも、その後の政治家や裁判官のチェックに役立つ情報になると思うので、消さないで保存し、また次回の選挙に2021年との差異などを評価するための情報として役立てられるようにしてもらえるとありがたい。(70歳以上女性)

※上記のような同様意見多数

■【連続テレビ小説】おかえりモネ <本編全120回、土曜振り返り24回>

5月17日(月)～10月30日(土)

総合 前8:00～8:15

BSプレミアム、BS4K 前7:30～7:45

反響7,821件 ※5月17日～10月31日で集計

(好評意見1,252件、厳しい意見1,979件、

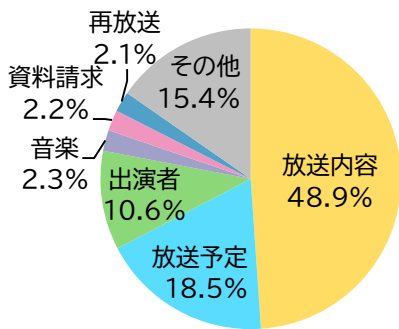
問い合わせ3,679件、その他の意見911件)



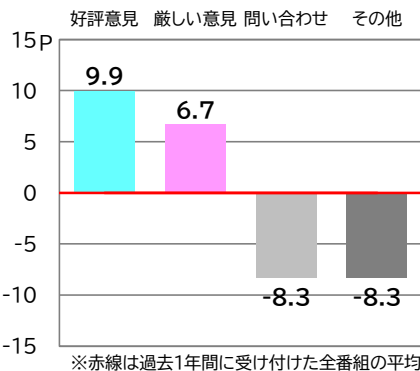
東日本大震災のとき家族のそばにいらなかったことに心痛めるモネこと永浦百音(清原果耶さん)が、気象予報士の仕事に出会い努力を重ね合格。身につけた知識でふるさとへの貢献と自身の未来を模索する成長物語です。新型コロナウイルスの感染拡大のため5月半ばに番組がスタートするなど、前作「おちょやん」、前々作「エール」同様に異例の対応が続きました。

総反響数7,821件は、直近の過去5作の連続テレビ小説のうち2番目に多い実績です。登場人物それぞれの気持ちに丁寧に寄り添い、自然との共生と循環を詩情豊かに紡いだストーリー、清原さんら出演者たちの繊細かつ熱量も伝わる演技が共感を集めました。一方、震災からの“心の復興”への葛藤、セリフを抑えて表情の動きや空気感が場面を語る演出に対して、賛否両論の声が寄せられました。

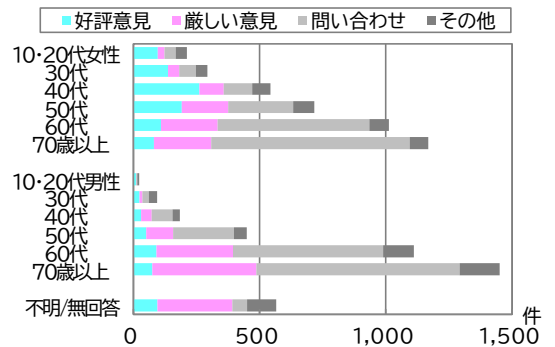
●受付内容の内訳



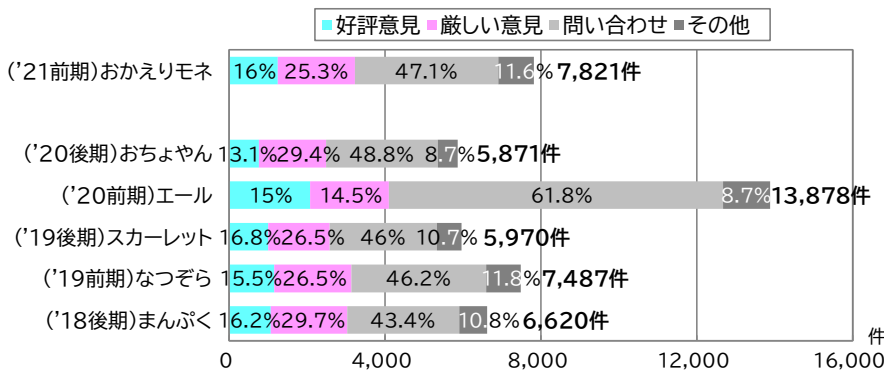
●意向種別の相対比較



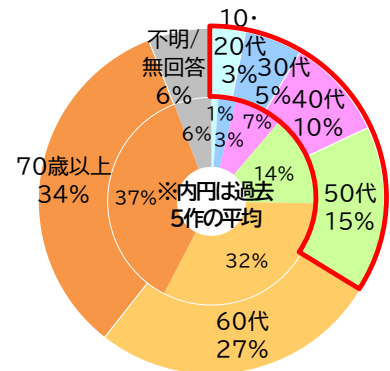
●意向種別×年代性別



●過去の連続テレビ小説との比較(反響件数と意向種別割合)



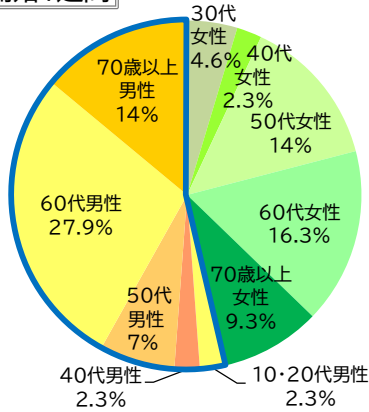
●過去の連続テレビ小説との比較(年代別割合)



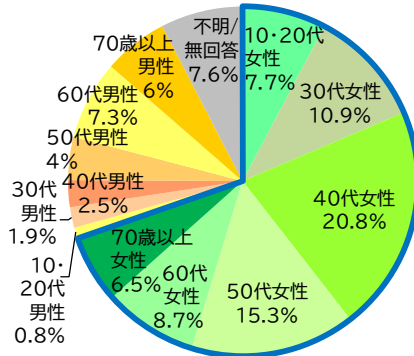
反響の年代別構成を過去の作品と比べると、10～50代の割合が8ポイント多く、より幅広い年代からの声が届いています。特に好評意見は開始当初は半数以上が男性からでしたが、30～50代を中心にSNSで評判を聞いたという方など、放送全期間では女性からの支持が7割近くを占めました。また、NHKプラスへの問い合わせや意見は、全話を配信した連続テレビ小説新作3作の中でこの「おかえりモネ」が最多となりました。従来の放送に加え、時間帯やメディアを問わないネット視聴による番組の楽しみ方も少しずつ広がりを見せているようです。

●好評意見の性別年代別割合の比較

開始1週間



放送全期間

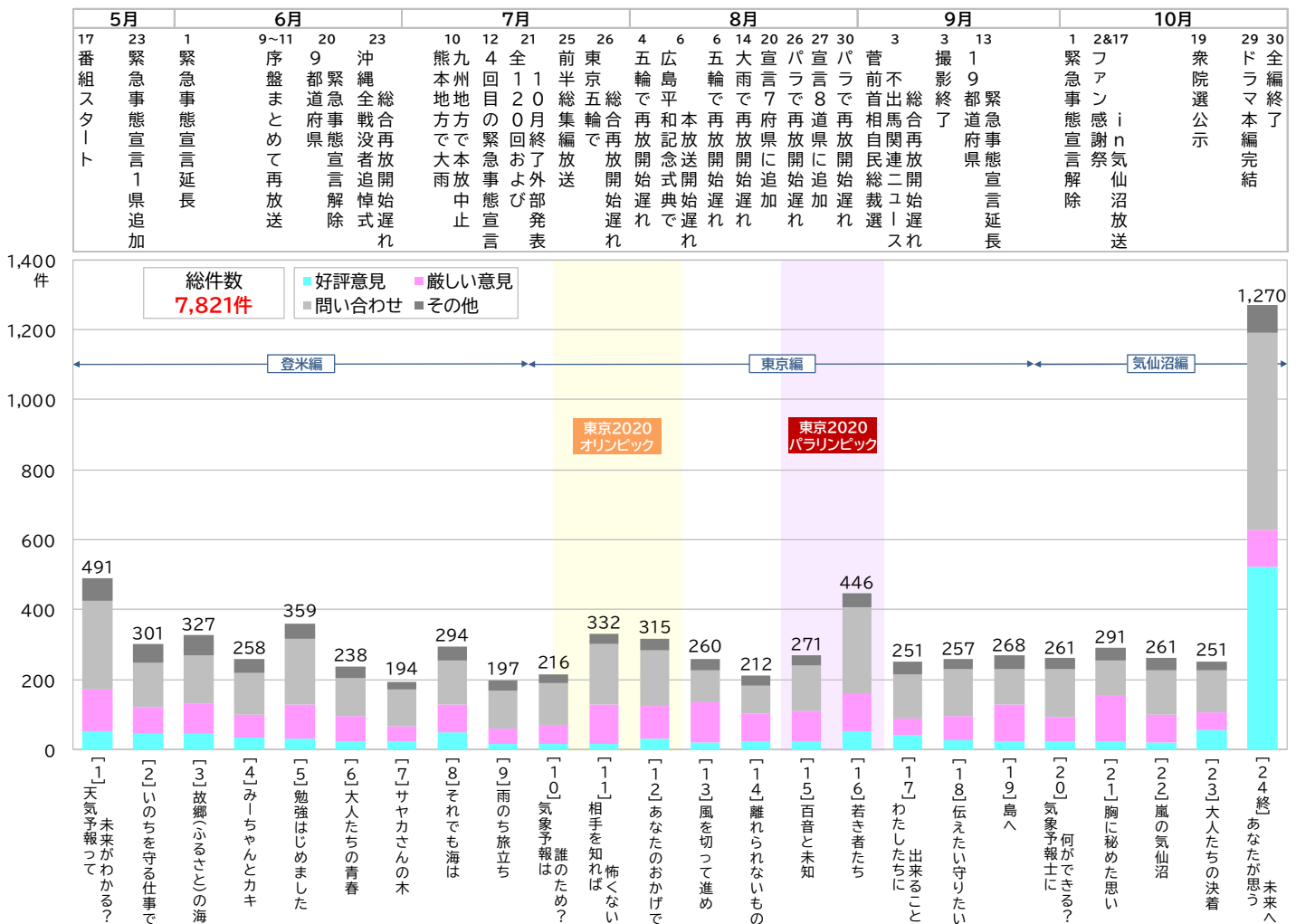


●NHKプラスへの問い合わせ、意見

番組名	NHKプラス関連の反響数
(’21前期) おかえりモネ	NHK+ 135件
(’20後期) おちよやん	NHK+ 84件
(’20前期) エール	NHK+ 119件

受付件数と意向種別の推移を見ると、東京オリンピックが開幕した第10週以降、放送予定に関する問い合わせが増加、パラリンピック中の第16週「若き者たち」は、百音の幼なじみ及川亮(永瀬廉さん)や妹の未知(蒔田彩珠さん)らが東京に集合、積もる感情を発露させる展開などが反響を呼びました。そして最終週「あなたが思う未来へ」では、9年間閉じたままのサクスのケースを開くことで過去の自分を乗り越え、感染症収束後の気仙沼で菅波光太郎(坂口健太郎さん)と再会するシーンで締めくくりました。晴れやかな表情のヒロインに向けて、“モネの帰還”を祝福する声が多数届きました。

●受付件数と意向種別の推移



【主な内容】

<好評意見>

- ・ 1人の女性の生涯ではなく、1人の普通の女の子が周りの人たちに助けられながら少しずつ成長し、家族や友人、地域との関係を作り上げる過程に感銘を受けた。ストーリーの進行がゆるやかだったこともあり、ふだん簡単に立ち止まることのできない現代にこそ、必要な物語だと感じた。
(19歳以下女性)
 - ・ 毎朝15分泣いたり笑ったり、ほっこりしたり、心が折れそうになったり。個人的にしんどかった日々の支えになってくれた。やさしく温かな登米編、地力をつけていく東京編、ようやく向き合えた気仙沼編。モネたち登場人物の走り抜けた軌跡を何度でもたどりたいドラマだ。(年代不明)
 - ・ 珠玉のセリフの数々に胸を打たれた。そしてそれを言葉だけでなく表情や息づかいまでも表現する俳優のみなさんの演技に圧倒された。傷つき立ち直れない人たちを置き去りにすることなく描ききったことに、(作者の)安達奈緒子さんや制作スタッフの誠実さが伝わった。(30代女性)
 - ・ 良質な物語の余韻にひたっている。最終回の浜辺の場面は、山に降った雨が川を流れて海に注ぎ波になって打ち寄せて再び雨予報…、番組のテーマが凝縮されているようだった。人は自然の大きな営みの一部であり、みんなつながっているのだと実感した。(60代男性)
 - ・ コロナ禍で社会が分断され、自分に自信が持てず悩んでいたころ、このドラマに出会った。在宅のときは1日4回、さらにNHKプラスでも楽しんだ。登場人物たちに救われ、背中を押され、番組のツイッターが縁で知り合えた人たちからも癒されて、前向きな気持ちを取り戻せた。私は私、自分の信じる道を進もうと今は思える。心から感謝したい。(40代女性)
 - ・ モネさんと菅波先生、何も無い間柄から大切な人になるまでがとても自然で、じれったかったが、それもこの2人だからこそ。ゆっくり丁寧に関係を築いていく姿がいとおしかった。できることならば2年半の空白の期間や、再会してからの2人の物語も見せてほしい。(20代女性)
- ※続編やスピンオフについての要望や意見362件

<厳しい意見>

- ・ 従来の朝ドラは、ヒロインがさまざまな困難を克服し明るく懸命に前を見て、視聴者に元気と勇気を与えてくれた。先輩気象予報士の「永浦さんって、ちょっと重いよね」が全て。昨今のコロナ禍で疲弊するなか、「重い」主人公を見たい人がどれほどいるのだろうか。(50代男性)
- ・ 登米のころが最も楽しめて、上京してから重苦しい展開が増えた印象がある。震災の記憶は風化させてはならないが、毎日取り上げる必然性もない。多くの若者たちが登場したので、彼ら彼女らが成長しそれぞれに活躍する姿をもっと描いてもよかったと思う。(60代男性)
- ・ 番組が始まったころは森林の大切さを親しみやすく紹介し、環境保全や地球温暖化対策にも一石を投じてくれるものと期待していた。しかし、(故郷に戻ってから)気象予報士としての活躍よりも個々人の人間関係が中心の青春ドラマのようになり、残念だった。(70歳以上)
- ・ 昨年、突発性難聴を患い、左耳に障害が残った。自宅でテレビを楽しむ程度なら不自由しないが、モネちゃんのささやくような会話だけが聞き取りづらい。高齢のファンも多いであろうこの番組をもっと楽しむためにも、俳優さんの発声にももう少し配慮をしてほしい。(40代女性)
- ・ 主人公が気仙沼に戻ったのが、前向きな選択ではなく、罪滅ぼしやトラウマのためだと感じられてしまう。さまざまな事情で地元を離れた人は多いが、どこにいても誰かのために何かをすれば巡り巡って自分の大切な人や故郷の人のためにもなる、そんな貢献のあり方も考えてほしかった。(50代女性)

○登場人物、出演者について

- ・ モネちゃんのつらい過去から、この先の人生を切り開こうとする未来までを演じきった清原果耶さん。表情のわずかな変化と間(ま)までもが雄弁に語る彼女を見て、この年齢でこんなに自然ですごい演技ができる俳優さんが現れたことに、思わずうれしくなった。(50代)
- ・ 永瀬廉さんの演技に魅了された。りょーちゃんの切ない表情、悲しみを飲み込んだ笑顔、抑え続けた気持ちの爆発…。ラストに船の上で輝く満面の笑顔は気仙沼の希望の象徴だった。(50代女性)
- ・ 菅波先生の「あなたの痛みは僕には分かりません。でも分かりたいと思っています」は、他者と関わるうえでの指針になった。一見、正論過ぎて突き放すようなセリフも、坂口健太郎さんのやさしい声と話し方に愛情があふれ、見ているほうも穏やかな気持ちになれた。(40代女性)
- ・ 永浦姉妹が本当の姉妹のように見えた。りょーちゃんが大好きでお姉ちゃんに嫉妬してしまう、勝ち気なようで実は心がもろい、そんなみーちゃんのことを、蒔田彩珠さんはよく表現していたと思う。(60代女性)

○公式サイト、SNS展開などネットコンテンツについて

- ・ 番組サイトで演出担当者のコラムを読んだ。細やかな表現の裏側に込められた制作者たちの熱い思いは、私たちの世代に対しても確かに伝わるものだった。(20代女性)
- ・ 字幕や副音声、ツイッターの「#俺たちの菅波」でつながったみなさんの投稿など、あらゆる方法で番組を楽しむことができ、充実した半年間だった。(50代女性)
- ・ 「番組レコメンド」が秀逸で、いつも楽しみだった。ボリューム感、読み応え十分だがリンクバナーがサイト内で目立たないので、もっと分かりやすい場所に置いてほしい。(30代女性)

○東日本大震災について

- ・ 地元の間人としては、ドラマというよりドキュメンタリーの感覚だ。さまざまな人の思いと歩みが丁寧に描かれ、登場人物の誰もが実在しそうな人たちで親近感が持てた。震災直後の混乱期から徐々に復興して落ち着きを取り戻す過程も、実にリアルだった。(60代男性)
- ・ 宮城県在住。発災当日島にいなかったことに後ろめたさを感じ、姉妹に深い溝が生まれる…。しかし私や私の周りの人たちに、被災の現場にいなかったことを責める人などいない。むしろ、「難を逃れてよかったね」「一緒に復興をがんばろう」と考える。モネの気持ちや発言は、震災を知らない人たちが想像した創作物という気がしてならない。(70歳以上男性)
- ・ 被災した友人は、当時の記憶が呼び戻され心苦しい思いで見えていたという。(被災者ではない)われわれ部外者にとっては、年に一度3月11日に静かに哀悼の意を表すことこそ誠意であり、発生から10年あまりでドラマに取り上げるにはまだ重過ぎる題材だと思う。(60代女性)
- ・ 被災していない私が被災者の気持ちを“分かる”ことはできない。だがドラマを見て想像し、震災を経験した方にSNSで「あのときはこうだったよ」と教えてもらい、理解を深めることができた。この物語は現実の私たちの世界とつながっている。一部の人だけでなく皆が非常事態にある今、モネちゃんたちは、私たちはどう生きるのか、問われているのだと思った。(30代女性)

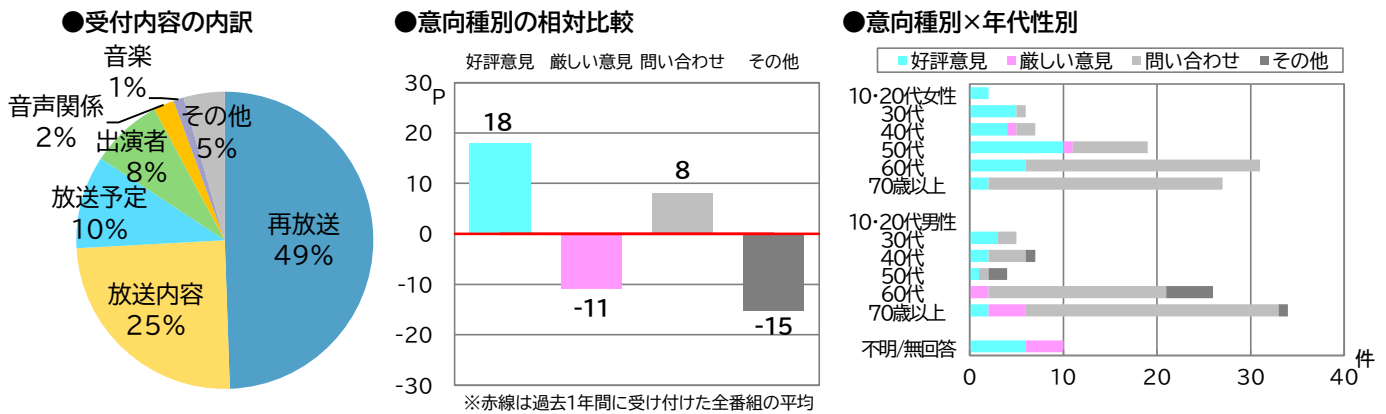
■NHKスペシャル
「メジャーリーガー 大谷翔平
～2021 超進化を語る～
 10月24日(日) 総合 後9:00～9:59



反響178件 ※10月18日～10月31日で集計
 (好評意見43件、厳しい意見12件、
 問い合わせ114件、その他の意見9件)

メジャーリーグ4年目で、全米に大旋風を巻き起こした大谷翔平選手。シーズンを通してフル稼働の二刀流で、打っては46本塁打・100打点、投げては9勝・156奪三振と数々の偉業を成し遂げました。取材班が渡米1年目から続けてきたインタビューは、その知られざる姿を克明に記録してきました。

手術後の過酷なりハビリ、打撃や投球のフォームを科学的に分析する試行錯誤の日々。二刀流進化の舞台裏に何があったのか、大谷選手への単独インタビューを軸に迫りました。視聴者からは、長期にわたって取材した映像やインタビューを評価する声や、ナレーターに関する様々な意見などが寄せられました。



【主な内容】

<好評意見>

- ・ なぜこれほど彼にひかれるのか、応援したくなるのか、その答えが詰まっていた気がする。長きに渡り取材した貴重な映像やインタビューに引き込まれた。未公開映像もぜひ見てみたい。(30代女性)
- ・ この1年、大谷選手の活躍に励まされた人がどれほどいただろうか。あらためて、ご家族を含めた人間性のすばらしさ、才能があってもまじめに努力を積み重ねる姿勢に魅了された。「楽しむ」という原点を知ることができたし、多角的な分析も興味深かった(40代女性)
- ・ このコロナ禍で、本当に気持ちを明るくしてくれた大谷選手の活躍に感謝しながら見た。今季の二刀流に賭ける思い、真摯に野球に取り組む姿に胸が熱くなった。シーズン終盤の外角攻め、自分のバッティングスキルがアップしたとの言葉が印象的。(60代女性)
- ・ 二宮和也さんの語りは穏やかで聴きやすく、熱すぎず冷たすぎず、番組に合っていた。(年代不明)

<厳しい意見>

- ・ BGMの低音部分の音が大きく、ナレーションやコメントが聞き取れない。もっとBGMを小さくしてもらえたら良かったと思う。(年代不明)
- ・ こういう番組は、アナウンサーにナレーションをやってほしかった。(40代女性)

[参考データ]

■放送番組への意見

10月に放送や番組に寄せられた視聴者の声は82,494件でした。このうち番組に対する意見は32,479件で、好評と不評で分類すると好評意見が36%、厳しい意見は64%でした。

	8月	9月	10月	2020年10月
好評意見	16.0%	28.6%	36.4%	24.9%
厳しい意見	84.0%	71.4%	63.6%	75.1%

■受信料への意見 ※ふれあいセンター(営業)扱い分

	事由	件数
スタッフ関係	訪問員等の対応、説明不十分等	438
	訪問日、訪問時間に対する不満	0
受信料制度	受信料制度への不満・不公平感	53
	料金体系・料額への不満	10
事務処理関係	事務手続き(割引・返金等)の遅れ等による苦情	36
番組サービス	「番組内容が悪い」等の不満	11
その他	上記以外、営業活動や受信料について等	906
合計		1,454

■技術・受信相談への意見 ※ふれあいセンター(受信)、各放送局扱い分

事由	件数
受信不良	2,047
一次対応	1,007
個別受信設備不良	806
共同受信設備不良	125
建造物による受信障害	13
雑音障害	50
混信・難視聴など	13
二次対応	1,040
技術相談(受信方法などへの問い合わせ)	822
合計	2,869